

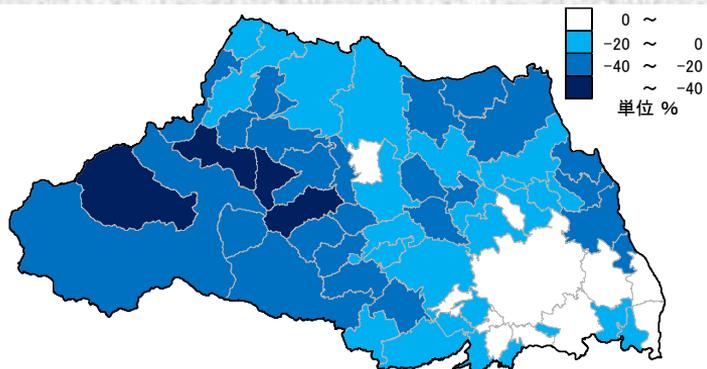
埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進について

少子化や急速な高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来

人口減少

約727万人 (2015) ⇒ 約672万人 (2040)

出典: 2015年は「国勢調査」、2045年は社人研「日本の地域別将来推計人口」(2018年推計)

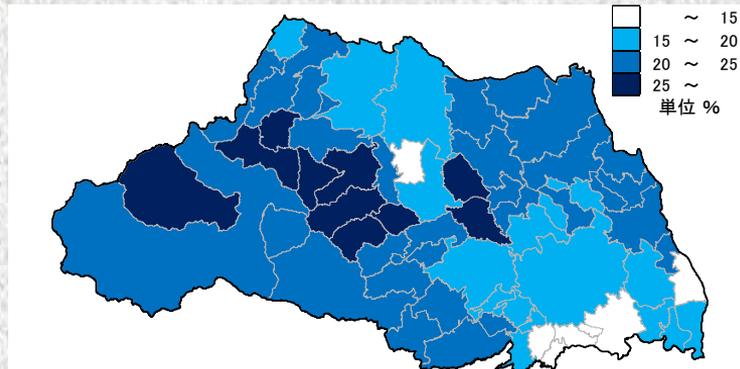


《人口増減率(2015年→2040年)》

後期高齢者の増加

10.6% (2015) ⇒ 18.5% (2040)

出典: 2015年は「国勢調査」、2045年は社人研「日本の地域別将来推計人口」(2018年推計)



《後期高齢者の割合(2040年)》

都市機能低下

地域経済の衰退

厳しい財政運営

持続可能でコンパクトなまちづくりを進め、日本一暮らしやすい埼玉県へ

プロジェクトの基本的な考え方(骨格)

コンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素全てを含む、地域特性に応じたまちづくりを支援

【参考】まちづくりの一例 (イメージ)

コンパクト

+

スマート

+

レジリエント

【取組例】

医療、福祉、交流等の複合拠点を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを促進

【取組例】

センサーを活用した高齢者や児童の見守り、災害時の情報提供

【取組例】

蓄電池の活用等、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築



※取組はハード・ソフト不問、中長期スパンでも可

支援の進め方について

